



29年度碧南市職員改善提案は
千件超で過去最高、経費改善効果は
累計で数十億円

平成29年度の職員提案は市民満足度の向上、費用対効果の向上、歳入の増加、経費の縮減、負担の減少、事務時間の短縮、職場環境の向上、メンタルヘルスの維持・向上などをテーマに行われました。その結果、千64件の提案が出され、過去最高となりました。市における職員提案制度は昭和36年から実施されています。私が市長になって10年が経過しましたが、一貫して、市役所と市職員の目的は「CS（市民満足度）」とCP（コストパフォーマンス）費用対効果」の最大化」であると訴え、日常的な改善・改革を促してきました。その結果の1つであると思いますが、職員提案件数は、大変多くなっています。

過去17年間の提案件数は、平成12年度41件、13年度62件、14年度61件、15年度16件、16年度47件、17年度48件、18年度81件、19年度418件、20年

度190件、21年度212件、22年度448件、23年度577件、24年度565件、25年度613件、26年度562件、27年度702件、28年度664件でした。

また、平成29年度、すでに実施済みで、金賞、銀賞、銅賞と評価された26件の提案の自己算定による経費改善効果額合計は約2千万円でした。平成25年度は30件で約6千500万円、26年度は23件で約2千100万円、27年度は25件で約410万円、28年度は22件で約280万円でした。実施済受賞提案分だけでも、この5年間で約1億千290万円改善効果があったこととなります。これらの多くは経常的経費の削減になり、受賞外の実施済改善提案も毎年数百件あるので、それらも含めると過去10年間の累計で数十億円の経費改善効果となりました。

この職員提案制度は単に経費を削減したり、収入を増やすことだけを目的としている訳ではなく、同時に市民満足度や職場環境の改善も対象にしていますので、そういった意味からも効果は大きいと思います。多くの職員が日々改善意識を持って仕事をしているか、そうではないか、年を重ねるに従って、大きな違いが出てきます。

市は、この面においても、「世界に誇る碧南市」を目指しています。

今後とも、職員一同、誠心誠意、継続して改善に努めてまいりますので、市民の皆様の一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

青少年育成推進員の皆さん

未来を担う心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、公民館を拠点に地域に根ざした活動を進めています。

問合せ 文化会館内生涯学習課

☎(42)3511

地区	氏名（敬称略）
新川	伊藤正博（住吉町） 仲地三保子（松江町） 橋田哲也（鶴見町）
中央	岡田光布（相生町） 石川まさ恵（向陽町） 生田昌史（向陽町） 奥谷純子（天王町）
大浜	杉浦公志（向陽町） 板倉勝敏（伊勢町） 岩崎利栄（西浜町） 野口廣記（若松町） 森田恭子（錦町）

地区	氏名（敬称略）
棚尾	岩瀬弘朋（汐田町） 杉浦まい子（春日町） 島崎肇也（春日町） 宮地美絵（沢渡町） 實原仁（霞浦町）
日進	杉浦範子（日進町） 名倉貴志（鴻島町） 斎田望美（日進町） 加藤省吾（城山町）
鷺塚	岡部京子（神有町） 河原睦（鷺塚町） 佐伯喜代美（新道町） 門口秀伸（長田町）
西端	伊藤真理（湖西町） 中村年広（三度山町） 市古真志美（白砂町）